

令和3年度

シラバス

青翔開智中学校

第2学年

もくじ

国語	3～4
社会	5～6
数学	7
理科	8
英語	9
探究基礎Ⅱ	10
音楽	11
美術	12
保健体育	13～14
技術・家庭科	15～16
道徳	17

教科名	科目名		単位数	学年・コース	
国語	現代文		3	中学2年	
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。				
学習内容の概要	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成するための事項について指導する。 なお、授業冒頭には漢字の小テスト及び、新演習テキストのテストを週1回程度実施する。				
評価の観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。		論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	テスト	60%	平常点	40%	
教科書・教材等	国語2(光村図書)、iワーク 光村図書「国語2」準拠(育伸社)、【新版】標準 新演習中2(エデュケーショナル・ネットワーク)、セレクト漢字検定5級～2級(桐原書店)、ジャポニカ学習帳 漢字練習帳200字、ビジュアルカラー国語便覧(大修館書店)				
授業形態	一斉				

年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ		
1	4	詩 読む(詩)	4	○	7	15	16
	5	「アイスプラネット」 読む(小説)	8				
		「クマゼミ増加の原因を探る」 読む(説明)	8				
	6	「ビブリオバトル」 話す・聞く	9				
			「読書感想文」 書く				
	7						
	8	「手紙の書き方」 書く	5				
	9	「言葉の力」 読む(随筆)	7				
		「盆土産」 読む(小説)	7				
		「研究の現場によこそ」 読む(読書)	8				
	11	創作文	5				
		「モアイは語る」読む(論説)	8				
	12	「スイミー」教科横断型授業 言語に着目して文学に触れる	4				
3	1	模試対策	2	○	8	15	
		「君は「最後の晩餐」を知っているか」 読む(評論)	6				
	2	「新書要約・新書スピーチ」 話す・聞く・書く	6				
	3	「走れメロス」 読む(小説)	10				

教科名	科目名	単位数	学年・コース
国語	古典	2	中学2年
科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
学習内容の概要	「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を育成するための事項について指導する。 なお、授業冒頭には五色百人一首(黄20首・桃20首)の解説を実施する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
評価の方法	テスト	60%	平常点 40%
教科書・教材等	国語2(光村図書)、ワーク 光村「国語2」準拠(育伸社)、【新版】標準 新演習中2(エデュケーション・ネットワーク)、ピジュアルカラー国語便覧(大修館書店)、中学書写(光村図書)		
授業形態	一斉		

年間学習計画						
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ	
1	4	副詞・連体詞・接続詞・感動詞	4			
		書写 行書を書く	2			
	5	助動詞・助詞	4			
	6	「短歌に親しむ」「短歌を味わう」「短歌を作ろう」	6			
		書写 行書を書く	2			
	7	敬語	2			
2	8	「枕草子」	7			
	9					
		10	「徒然草」(仁和寺にある法師)			
	11					
	12	書写 行書と仮名の調和	6			
	3	1	「平家物語」			
2		書写 楷書と行書の使い分け				
3						

教科名		科目名		単位数	学年・コース		
社会		地理		2	中学2年	必修	
科目の目標		広い視野に立って、地理的分野に対する関心を高め、諸資料に基づいて多角的・多面的に考察する力を付ける。					
学習内容の概要		2年時には日本の様々な地域や身近な文化について調査し、データや資料にまとめる。また、世界各地の様子を気候や地域・生活や習慣などを通して考察していく。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
		日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付ける。	地理的課題を見いだし、地域的特色を環境条件や生活と関連付け多面・多角的に考察し、公正に判断し、過程や結果を適切に表現する。		地理的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域的特色について認識を養おうとする。		
評価の方法		テスト	60%	成果物	30%	平常点	10%
教科書・教材等		新しい社会 地理(東京書籍)、中学社会科地図(帝国書院)					
授業形態		クラス一斉					
年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など			時数	探究	タグ
1	4	○日本の姿 ○世界から見た日本の姿	・日本の姿 ・世界から見た日本の自然環境 ・世界から見た日本の人口 ・世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 ・世界と日本の結び付き		12	○	3 14
	5						
	6						
	7	○日本の諸地域 ○身近な地域の調査	・九州地方・地域ハザードマップ		8	○	1 14 15
2	8		・中国・四国地方		12		
	9		ジオパーク研究			○	1 14 15
	10		・近畿地方		8		
	11		・中部地方		8		
	12		・関東地方		8		
3	1		・東北地方		8		
	2		・北海道地方 鳥取うまいもの図鑑		8	○	1 3 14,15
	3						

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
社会	歴史	2	中学2年	必修
科目の目標	日本や世界の諸地域を比較し関連づけて考察し、各地域が相互に関係しあっていることを理解する。			
学習内容の概要	基本的には板書中心の座学で授業を進める。板書だけの授業であると単なる暗記になってしまうことも考えられるため図表を投影し、まずは根底に流れる歴史背景を理解させることで知識の浸透を促す。「書く」ことにより理解が阻害されてしまう生徒はiPad利用でのメモも認める。図書館利用学習はテーマ設定の幅を広く設け、生徒同士で共有することで生徒全員が広範な知識を得られるものとする。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
	歴史的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、知識を身につけ、社会生活の中で活用することができる	歴史的事象から課題を見いだし、意義や特色、相互の関連性を多面的に考察し、表現することができる。	歴史的事象に関する関心を高め、意欲的に追求し、社会を構成する一員としての自覚と責任を考えることができる。	
評価の方法	単元テスト	60%	成果物・提出物	30%
			意欲・態度	10%
				%
教科書・教材等	新しい歴史 東京書籍 中学必修テキスト 中学 社会(歴史) 新編 新しい社会 基礎・基本徹底ワーク(4～7章)			
授業形態	一斉			

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	近世の日本	産業の発展と幕府政治の動き	6		
	5	開国と近代日本の歩み	欧米の進出と日本の開国	6		
			明治維新	6		
	6		明治の国力比較	6	○	9 11
	7	単元テスト	日清・日露戦争と近代産業	4		
			全国水平社と差別の歴史	4		
2	8					
	9	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本	6		
		単元テスト				
	10		世界恐慌と日本の中国侵略	6		
		単元テスト				
	11		第二次世界大戦と日本	6		
	12	単元テスト	新聞の効果	6	○	3 5
3	1	現代の日本と世界	原爆ドームと平和	4		
			戦後日本の発展と国際社会	4		
	2	単元テスト	新たな時代の日本と世界	5		
			歴史まとめ	3		
	3		偉人戦闘力	6	○	3 8

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態	
数学	数学	5	中学2年	必修	
科目の目標	文字を含んだ計算やともなって変化する数量について学ぶことで、数や数量関係に関する抽象的な概念を身につけ、物事をより一般的に捉える力を習得する。また、図形の性質を通じて定義や公理、定理などの事柄を理解し、論理的に事柄を説明する力を身につける。				
学習内容の概要	「式の計算」では式の展開や因数分解を行い、分配法則を(多項式)×(多項式)まで発展させる。「平方根」では数を無理数まで拡張する。「2次方程式」では平方根や因数分解を用いた方程式の解法を学ぶとともに公式を用いた解法を取り扱う。「関数 $y=ax^2$ 」では2乗に比例する関数について、そのグラフの形状や変化の仕方について学ぶ。「図形と相似」では相似な2つの図形における性質を用いて、「線分の比と計量」では面積比を用いた三角形の性質を用いて、線分の長さや角の大きさを求める。「円」では、円周角の定理や円の接線の性質をもとに角の線分の長さや角の大きさを求める。「三平方の定理」では三平方の定理を用いて線分の長さを求める。				
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力		
	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。	事象を数学的に捉えて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身につけている。	数学的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数学の良さを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。		
評価の方法	テスト	60%	数学的活動	30% 態度 (自己評価 含)	10%
教科書・教材等	数研出版 数学2、人工知能型教材Qubena、旺文社 中学総合的研究問題集				
授業形態	一斉				

年間学習計画							
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ	
1	4	確率(中2)	同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにした確率を求める。	15	○	13	
	5	データの分析(中2)	四分位数と箱ひげ図について、必要性和意味を理解する。箱ひげ図からデータの分布を読み取る。	10	○	2	11
	6	式の計算(中3)	単項式と多項式の乗除や多項式の積について、計算方法を理解する。展開や因数分解を利用し、工夫して計算する。	15			
	7	平方根(中3)	平方根の定義や計算方法を理解し、それらの計算をする。	15			
2	8	2次方程式(中3)	2次方程式とその解の意味を理解する。因数分解や平方根の考えを使って方程式を解く。	20			
	9						
	10	関数y=ax ² (中3)	yがxの2乗に比例する関数について、グラフを書いたり変化の様子を説明したりする。	20			
	11	図形の相似(中3)	三角形の相似を証明したり性質を用いて長さを求めたりする。	15	○	8	9
		円(中3)	円周角の定理を理解して利用する。	10			
	12	三平方の定理(中3)	三平方の定理について理解し、線分の長さや円の弦の長さを求める。	15	○	8	9
3	1	融合問題演習①	図形の性質を利用して、座標平面上で図形の面積やグラフの式を求めたりする。	20			
	2	融合問題演習2	文字を用いて数の性質を証明したり、図形の性質を説明したりする。	20			
	3	グラフの種類の学習	グラフを比較して特徴を学ぶことで、探究活動に活用できる技術を身につける。	20	○	5	10 11

教科名	科目名	単位数	学年・コース
理科	科学	4	中学2年
科目の目標	自然の事物・現象についての知識・理解を深め、見通しをもって観察・実験を行い、科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。		
学習内容の概要	生命:生物のからだのつくりとはたらき 地球:地球の大気と天気の変化 物質:化学変化と原子・分子 エネルギー:電流とその利用		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
	自然科学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的に探究する方法を身につける。	自然科学の事物・現象に問題を見いだし、事象を科学的に考え、判断した事柄を的確に表現できる。	自然科学の事物・現象に関心・探究心をもち、意欲的に解決しようとする態度を身につけようとする。
評価の方法	単元テスト 30%	レポート 30%	成果物 20% 授業態度 20%
教科書・教材等	啓林館『未来へひろがるサイエンス2』、『理科の自主学習2』		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画								
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ			
1	4	生物の体のつくりとはたらき ・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ（錯視を体験しよう）	38	○	9			
	5							
	6							
	7							
2	8	地球の大気と天気の変化 ・地球をとり巻く大気の様子 ・大気中の水の変化（雲を発生させよう）	36			○	8	
	9	・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季						
	10	化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	36					10
	11							
	12							
3	1	電流とその利用 ・電流の性質（発熱量，放射線の利用を含む）	36	11				
	2	・電流の正体 ・電流と磁界						
	3	まとめ			10			

教科名		科目名		単位数	学年・コース		
外国語		英語		6	中学2年		
科目の目標		英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲・態度の向上促進を図り、聞くこと、話すこと(やり取り・発表)、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を目指す。中学生レベルの基礎～発展的な英語を読んだり聞いたりして、書き手や話し手の意向を理解し、自分の考えなどを書いたり、話したりすることができるようにする。					
学習内容の概要		上記の目標を達成するために、テキストを使用しての文法学習に加え、オンラインスピーキングトレーニング・多読活動・探究スキルラーニングでの多様な成果物作成と発表を通して、聞くこと、話すこと(やり取り・発表)、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の習得と定着を図る。また、日本の文化と外国の文化を比較し、他者を受容する姿勢を育む活動を行う。本学年次在籍中に英検3級取得を目指す。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度		
		当該レッスンにおける文法事項を含む文を正しく聞き取ったり読み取ったりすることができるか。正しく話したり音読したり、書いたりできるか。また、そこで扱われた語句・表現、発音・強勢・イントネーションについての知識があるか。	当該レッスンで得た知識を探究スキルラーニングに落とし込むことができるか。対話場面で流暢に発話・応答できているか。自分の考えを表現できているか。		間違えることを恐れずに積極的に、各種活動へと取り組んでいるか。また自分自身の学習を管理し、コミュニケーション能力の向上のため行動しているか。また、非母語話者を含む多様な英語やその背景にある文化を理解しようとしているか。		
評価の方法		探究スキルラーニングでの成果(演劇・レポート・発表など) 提出物 全活動における意欲と態度		40%	単元末テスト 60%		
教科書・教材等		New Crown II (三省堂)、New Treasure English Series Stage1 Second Edition、New Treasure English Series Stage1 Second Edition 文法問題集、New Treasure English Series Stage2 Second Edition、New Treasure English Series Stage2 Second Edition 文法問題集(以上、Z会) クラウン チャックで英単語(三省堂)					
授業形態		習熟度別					
年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など		時数	探究	タグ	
1	4	オリエンテーション	評価等の説明	2			
		New Treasure 1 Lesson 11	未来を表す表現	15			
	5	New Treasure 1 Lesson 12	いろいろな助動詞	15			
			探究スキルラーニング① スキットで英語の表現を勉強しよう	5	○	8	16
	6	New Treasure 1 Lesson 13	There is (are)～の文	15			
		New Treasure 1 Lesson 14	比較	15			
	7		探究スキルラーニング② Show & Tell	6	○	8	16
2	8	New Treasure 2 Lesson 1	助動詞表現、文の構造1	13			
	9	New Treasure 2 Lesson 2	不定詞	14			
			探究スキルラーニング③ 多読POPを作成しよう	6	○	14	
	10	Online Speaking Training	オンラインスピーキングトレーニング受講 (計10回/10月～12月までを予定)	10			
		New Treasure 2 Lesson 3	副詞節を導く接続詞	14			
	11		探究スキルラーニング④ 異文化理解プログラム(予定)～ハンバーガーライティングに挑戦しよう～	7	○	7	15
		New Treasure 2 Lesson 4	名詞節を導く接続詞、文の構造2	15			
12		スミミを讀んで翻訳家になってみよう 教科横断の展開を予定	13				
3	1	New Treasure 2 Lesson 5	動名詞	15			
			探究スキルラーニング⑤ 日本食の紹介パンフレットを作成しよう	7	○	8	12
	2	New Treasure 2 Lesson 6	現在完了形	14			
			探究スキルラーニング⑥ 中学2年生までの復習のための授業作りをしよう	6	○	1	16
	3	New Crown II	2年生の総復習・長文	10			

教科名	科目名	時間数	対象学年	履修形態
総合的な学習の時間	探究基礎Ⅱ	2	中学2年	必修

科目の目標	デザイン思考を活用し、企業が抱える課題を創造的に解決できる資質を身に付ける。
学習内容の概要	デザイン思考を使って創造的に課題解決を行います。夏から始まる職場体験においてフィールドワークによって企業の課題を発見します。発見した課題を解決するためのワクワクする提案をしてください。そしてその方法をチームのみんなで力を合わせ実現させてください。実際に企業に提案し、評価してもらいます。職場体験実施までの期間はデザイン思考の使い方や、校内でプレ課題解決を実施しデザイン思考を使う練習を行います。
評価の観点	・デザイン思考を活用できたか。・チームで協力して課題解決できたか。 ・データに基づいた根拠ある課題設定や、データに基づいたテスト(検証)ができたか。 ・解決策をプロトタイプとして形にできたか。 ・解決策の提案に対して共感を得ることができたか。・設定した課題は解決されたか。
評価の方法	成果物 発表
教科書・教材等	学びの技
授業形態	一斉

年間学習計画						
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ
1	4	オリエンテーション	探究活動について	2		
		デザイン思考活用ワーク	デザイン思考の活用について	4		
	5	学校内課題解決	学校内でのデザイン思考活用実践	2		
		学校内課題解決	学校内でのデザイン思考活用実践	4		
	6	学校内課題解決	学校内でのデザイン思考活用実践	4		
		企業研究	職場体験先企業の研究	6		
	7	職場体験準備 プログラミングキャンプ	職場体験の準備(インタビュー内容等の準備) プログラミングを活用したデバイス作成	4 7		
2	8	職場体験	職場体験(探究フィールドワーク)	16		
	9	課題設定・アイデア設定	職場の課題設定, 課題解決のアイデア設定	4		
		プロトタイプ作成	解決アイデアの具体作成	6		
	10	プロトタイプ作成	解決アイデアの具体作成	2	○	
		発表資料作成・中間発表	企業への中間発表	6		
	11	テスト	企業からのフィードバックをもとに内容修正	2		
		テスト	プロトタイプの効果検証	6		
3	12	テスト結果まとめ	検証結果のまとめ	2		
		中間発表	校内中間発表	2		
	1	発表資料作成	青開学会用発表資料の作成	6		
	2	展示準備	青開学会用の展示準備	6		
		青開学会	探究活動成果発表会	7		
	3	青開学会フィードバック	青開学会の振り返り	2		
		SDGsワークショップ	SDGsに関するワークショップ	4		

教科名		科目名	単位数	学年・コース	
音楽		音楽	1	中学2年	
科目の目標		リズムや旋律・ハーモニーなど、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や良さを 感じ取って、生き生きと表現活動を行うこと。			
学習内容の概要		一人ひとりの音楽に対する関心の違いや知識の差を個性と認めつつ、様々な時代の音楽の様式に触れな がら、その楽曲を形作っている諸要素や良さを感受し、関心や意欲を高め、表現の工夫を深める。			
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度	
		曲の持っている情景や心情を感じ、味 わいながら聴き、作曲の背景や作品を 構成する諸要素の理解を深めている。 曲想に相応しい表現を工夫し、演奏に 生かしている。	歌唱に於いて発声や言葉の意味を理 解し表現している。器楽に於いて演奏技 術の習得や音色の工夫に励んでいる。	音楽への関心が積極的に取り組む態度 になっており、グループで協力し合い、 協調性を持って取り組む姿勢を持っ ている。	
評価の方法		筆記テスト点 50% 実技テスト点 30% 平常点 20%			
教科書・教材等		中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)、アルトリコーダー			
授業形態		一斉			
年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など		時数	探究 タグ
1	4	交響曲第5番ハ短調「運命」曲の構成に注目し、曲想の変化を味わいながら鑑賞する		2	
	5	「フーガト短調」旋律の重なり合いに注目しながら鑑賞する。		2	
		オペラ「アイダ」からオペラに親しみ、特徴を感じながら鑑賞する。		2	
	6	確認しよう記号・音楽用語の読み方と意味を確認する。		2	
		リズム ゲームリズムを作り、拍に合わせてリズムをたたく。		2	
7	指揮をしてみよう指揮をする時のポイントを理解する。		1		
2	8	「翼をください」曲想を感じ取り、パートの役割を理解する。		4	
	9	「カノン1」リコーダーの運指を確認する。		4	
	10	「Kum Ba Yah」アカペラによる響きを感じながら合唱する。		2	
		「クラッピン グ ラブソディ」第1番リズムの変化を感じ取って演奏する。		3	
	12	My Melody和音の音を使って旋律を作る。		2	
3	1	日本の伝統音楽歌舞伎「勧進帳」を鑑賞し、その特徴を理解する。		3	
	2	音楽の基礎知識2記号・音楽用語の読み方と意味を理解する。		3	
	3	「天使にラブソングを1」ミュージカルの構成と良さをと感じ取る。		2	

教科名	科目名	単位数	学年・コース
美術	美術	1	中学2年
科目の目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。		
学習内容の概要	表現・美術を愛好する心情を培う。心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じとる力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や、形や色彩などによる表現の技術を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 鑑賞・自然の造形や美術作品などについての基本的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞能力を高める		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	感性や想像力を働かせて感じ取ったことや考えたことなどを基に、豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、心豊かで創造的な表現の構想をする。	感性や造形感覚などを働かせて、表現の技能を身に付け、意図に応じて表現方法などを創意工夫し創造的に表している。	主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組み、その喜びを味わい美術を愛好していこうとする。
評価の方法	テスト (鑑賞を含む)	35%	発想・構想 25% 技能 25% 授業態度 15%
教科書・教材等	美術(日本文教出版)、スケッチブック		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画						
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ	
1	4	ガイダンス 「鑑賞」「最後の晩餐」をグループで鑑賞し、裏切り者は誰かを推理する。 「遠近法」一点透視図法、二点透視図法を学び、それらを活用した作品を制作する。	14	○	20	21
	5					
	6					
	7					
2	8					
	9					
	10					
	11	「あかりが作る空間」	13			
	12					
3	1	「人物を描く はりこお面」	9	○	20	21
	2					
	3	「防災について考える」自然災害が多発する今日、ゲームを通して防災意識を高め、来年度の防災ポスターにつなげる。	3			

教科名		科目名		単位数	学年・コース		
保健体育		保健体育		3	中学2年		
科目の目標		体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。					
学習内容の概要		単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。					
評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度		
		運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。		運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。		
評価の方法		単元テスト	20%	技能テスト	40%	平常点	40%
教科書・教材等		ステップアップ中学体育(大修館書店)					
授業形態		男女別クラス一斉（男子クラス）					
年間学習計画							
学期	月	単元名・学習内容など			時数	探究	タグ
1	4	体づくり運動			5		
		体育理論					
	5	ハンドボール			12		
	6	陸上			12		
	7	バレーボール			14		
8							
2	9	ソフトボール			10		
	10	バスケットボール			10		
	11	バドミントン			10		
	12	武道:空手			6		
	3	1	ダンス 保健				
2		器械運動			8		
3		卓球			8		

教科名	科目名	単位数	学年・コース
保健体育	保健体育	3	中学2年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。		
学習内容の概要	単元ごとの目標を明確にし、必要に応じて情報提供をおこなったり、自らインターネットや本で情報を集めたりするなど、健康に対する意識を高められるような授業展開をする。内容は、運動に関する領域及び知識に関する領域で構成されている。運動に関する領域は、「体づくり運動」、「器械運動」、「陸上競技」、「球技」、「武道」及び「ダンス」であり、知識に関する領域は、「体育理論」である。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	単元テスト 20%	技能テスト 40%	平常点 40%
教科書・教材等	ステップアップ中学体育(大修館書店)		
授業形態	男女別クラス一斉(女子クラス)		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	体づくり運動 体育理論	5		
	5	陸上	12		
	6	バスケットボール	12		
	7	ハンドボール	14		
2	8				
	9	バドミントン	10		
	10	ソフトボール	10		
	11	サッカー	10		
	12	武道:空手	6		
3	1	器械運動	10		
	2	卓球	8		
	3	ダンス 保健	8		

教科名		科目名			単位数	学年・コース			
技術・家庭		技術・家庭（技術領域）			1	中学2年			
科目の目標		実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。							
学習内容の概要		（１）生活や社会を支える材料と加工の技術 （２）材料と加工の技術による問題の解決 （３）社会の発展と材料と加工の技術							
評価の観点		知識・技能			思考・判断・表現		主体的に取り組む態度		
		○材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、及び製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。			○生活の中から材料と加工の技術と収納等に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。		○進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。		
評価の方法		テスト	50%	成果物	40%	発表	10.0%		
教科書・教材等		技術・家庭（技術領域）（開隆堂）							
授業形態		クラス一斉							
年間学習計画									
学期	月	単元名・学習内容など				時数	探究	タグ	
1	4	生活や社会を支える材料と加工の技術 ・身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。				3			
	5	生活で役立つ製品をデザインする技術 ・等角図法および第三角法による正投影図法を身に付け、製図のルールを知る。				3			
	6	材料を利用するための技術 ・木材の特徴と加工方法と身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。				4			
	7	課題の設定と設計 ・園児の生活の中から収納に関わる問題を見だし、設定した課題に基づき、製作物を構想・試作する。 ・課題を解決する製作品の設計図・工程表を具体化する。				3			
2	8					0			
	9					4			
	10	4							
		11	製作のための技能（木材） ・製作品の材料取りを行う。 ・切断作業を行う。 ・組立てにむけて必要な部品加工を行う。 ・製作品の組立てを行う。 ・制作品の仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正を行う。				4		
	12					3			
3	1					3			
	2	制作品のプレゼンテーションと評価 ・完成した製作品について発表し、相互評価に基づいて製作品や解決過程の修正・改善を考える。				3			
	3	これからの材料と加工の技術 ・よりよい生活を実現する材料と加工の技術の在り方について話し合い、自分の考えを発表する。				1			

教科名	科目名	単位数	学年・コース
技術・家庭	家庭	1	中学2年

科目の目標	実践的、体験的な活動を通して、生活をより良くしようとする主体的な態度を育てる。		
学習内容の概要	自分の食生活に関心を持ち健康的な食習慣を考える。中学生に必要な栄養の特徴を学習し、日常食の調理を行う。地域の食材や食文化についても理解する。 消費生活について権利と責任の理解、また環境に配慮した消費生活を工夫できるようにする。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し表現するなど課題を解決する力を身につけているか	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し表現するなど課題を解決する力を身につけているか	生活や社会の中から問題を見つけ課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し表現するなど課題を解決する力を身につけているか
評価の方法	テスト	60%	平常点 40%
教科書・教材等	「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂出版		
授業形態	クラス一斉		

年間学習計画					
学期	月	単元名・学習内容など	時数	探究	タグ
1	4	○食生活	1		
		○食生活健康と食生活	1		
	5	・食事の役割について考える	2		
		・中学生に必要な栄養	2		
	6	・食品と栄養	4		
		・食事の計画	4		
	7				
2	8				
	9	○調理をしよう	2		
		・調理の基本	2		
	10	・肉の調理	2		
		・魚の調理	2		
	11	・野菜の調理	2		
3	12	○食品の選択と保存 ・生鮮食品と加工食品	2		
		○商品の表示 ・食品の表示	2		
	1	・食品の選択、購入、保存	3		
		○地域の食材と食文化 ・郷土料理、受け継がれる食文化	2		
	2	○身近な消費生活と環境			
		○家庭生活と消費 ・消費生活のしくみ	2		
	3	○商品の選択と購入 ・生活情報の消油(表示マーク)	2		
		・購入方法と支払方法	2		

教科名	科目名	単位数	対象学年	履修形態
道徳	道徳	1	中学2年	必修
科目の目標	○レジリエンス教育を通して多認知的な視点を身につけ、適切な自己受容・他者受容につなげ自己肯定感を育む。 ○ダイバーシティ教育として、様々な人権問題について深く学び道徳的価値観を広げ、それに基づいた生き方についての自覚を深化させる ○様々な活動の発表や講演、交流事業を通して多面的、多角的な道徳的理解を基礎とした実践力を育成する。 これらの軸を通じて、今後の社会においてよりよく生きるための基礎となる道徳性を養う。			
学習内容の概要	A主として自分自身に関すること、B主として人との関わりに関すること、C主として集団や社会との関わりに関すること、D主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関することについて、様々な視点・手法でアプローチする。 特にAでは、レジリエンス教育Ⅰを通じて自分自身の感情の向き合い方を重点的に学ぶ。 また、中学校3年間を通して様々な人権課題を学び、適切に理解することで人権意識を高める。特に中学2年次は現代的な人権課題を中心に学ぶ。			
評価の観点	・授業後に提出するワークシートの内容 ・授業後に記入する振り返り			
評価の方法	数値等による評価はしないが、振り返り等の内容は生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握するため活用する。			
教科書・教材等	新しい道徳 中学校			
授業形態	一斉			

年間学習計画									
学期	月	単元	学習内容	時数	探究	タグ			
1	4	ガイダンス	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。行動の振り返りは毎週行い、自他でフィードバックを行う。	3					
		PBISを基にした目標の作成							
	5	発達障がい・内部障がいについて	映像教材を通して発達障がい、内部障がいについて学習する。また、合理的配慮によって困難を解消できる可能性があること、それは全ての人のためになることを学習する。	4					
	6	レジリエンスⅡ	レジリエンスⅡでは自分をポジティブな視点で認知することや、自他から見た自分の強みなどについて学習する。	4					
		働くことについて	働くとはどういうことなのか、自身の勤労感について考察する。	1					
	7	家族について	「たんたんタンゴはパパふたり」を題材に多様な性と家族の在り方について学習する。	1					
		PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定		学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学期の目標を考察する。			1		
2	8	PBISを基にした目標の作成	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。	2					
	9	手話・聾学校見学	鳥取県の手話普及支援員派遣制度を利用して、地域のろう者と交流する中で手話及び、ろう文化について学習する。	3					
	10	服装・マナーについて	礼儀や時と場合における適切な言動などについて学習する。	1					
		いのちのもちもの検査	ワークショップ「いのちの持ち物検査」を通して難民について学習し、難民のために「自分にできることは何か」について考察する。	4					
	11	多様な性への理解	多様な性について学習する。自己のアイデンティティを深化させるとともに、一つの要素はその人の一側面ではないことを学習する。	2					
		世界のルール調査	世界各地の法律やマナーについて調査し、これからの社会においてどのようなルールが必要になるのか、どのように行動していくのか考察する。	3					
	12	伝統と文化を感じさせるゲスト	鳥取や日本の伝統芸能・文化にふれ、その歴史や技術・関わる人の思いを学習し、将来の社会へとつなげていく態度を育成する。	1					
		PBISを基にした学期の振り返り / 次学期の目標設定		学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学期の目標を考察する。			1		
	3	1	PBISを基にした目標の作成	望ましい行動という視点から学級における行動目標と個人における行動目標を設定する。			1		
			ユニバーサルデザイン	公平公正な社会を目指してユニバーサルデザインについて学習する。また身の回りにあるユニバーサルデザインについて調査する。			5		
3		PBISを基にした学期・年間の振り返り / 道徳の振り返り		学期における初回授業に設定した自他の目標について振り返り、次学年の目標を考察する。また1年間の道徳の学習を通して学んだことを振り返る。	2				